

【瀬谷区】令和元年第 2 回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	令和元年 6 月 3 日 10 時 00 分 ～ 12 時 00 分
場 所	瀬谷区役所 5 階 大会議室 A
出席者	<p>【座 長】花上喜代志議員</p> <p>【議 員： 2 名】川口広議員、久保和弘議員</p> <p>【瀬谷区： 4 0 名】森秀毅区長、石原孝副区長、 五十嵐吉光福祉保健センター長、 藤澤智明福祉保健センター担当部長、 井上義晃土木事務所長、ほか関係職員</p>
議 題	1 令和元年度 個性ある区づくり推進費自主企画事業の執行計画
発言の旨	<p>川口議員：今年「瀬谷区制 50 周年」や「国際園芸博覧会の横浜誘致を成功させる横浜市議員の会」が設立等、瀬谷区の町づくりが加速していることを実感しています。森区長は就任してから 4 年目となりますが、区長就任の 4 年前と比べ、現在の瀬谷区の雰囲気、また、今後の町づくりに向けて所感を聞かせてください。</p> <p>森区長：瀬谷区は 4 年前と比べ、全体的に様々な動きが出てきていると感じています。瀬谷駅南口の再開発事業が着実に動き出していることは非常に嬉しいことだと思っています。旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会の招致については、局も人員体制を強化し、予算を付けて動いているということから、区も地元と一緒に招致活動を盛り上げていきたいと思っています。また、相鉄・JR 直通線が 11 月 30 日に開業を予定しておりますし、相鉄・東急直通線も 3 年後の開業を予定しています。これにより、東京との交通アクセスが非常に良くなりますので、東京から瀬谷区に来ていただけるような情報をしっかり発信していくことが大事だと思っています。課題としては、高齢化や町の活性化等があげられますが、これらについても、今後の町づくりの進展を上手に活用して良い方向に持っていきたいと思っています。</p>

川口議員：瀬谷区は18区の中でも大きく変わっていく区であり、局の関わりも大きくなってきていると思っています。そういう意味で、局との連携をさらに強化していくべきと考えますが、区長の考えを聞かせてください。

森区長：国際園芸博覧会に関しては、道路局では部長、環境創造局でも課長を配置する等、各局が非常に力を入れていますので、しっかりと区と局が連携し、進んでいくと考えています。

川口議員：瀬谷区で作成している「子育て応援ガイドブック」等の特徴を教えてください。

柴山こども家庭支援課長：瀬谷区で作成している「子育て応援ガイドブック」では、「瀬谷 de 子育て」がありますが、その他にも子育て応援マップ「ぐるっとなび」を作成しています。これには、写真を使い、子育てに関わる商店等、瀬谷区での子育てに必要な情報を掲載しています。

川口議員：学習支援ボランティア養成事業とは、どのような事業ですか。

結城生活支援課長：学習支援を必要としている子どもたちに、安定的かつ継続的に支援を行えるように、学習支援を行えるボランティアを養成する講座を開催しています。

川口議員：今年で3年を経過するということですが、地域の中では知られているのでしょうか。

結城生活支援課長：受講者数が増加しているということではありませんが、ボランティアとしての実績は、少しずつ上がっていると考えています。

川口議員：児童虐待防止対策事業では、父親に向けたリフレッシュ事業やカウンセリングを行っているのでしょうか。父親からの虐待というニュースをよく聞きますが。

柴山こども家庭支援課長：現状では、父親に向けた講座は行っておりませんが、ご両親で参加いただけるような講座は開催しています。これには、父親になられる方も多く参加されていると思いますが、改めて、父親という視点からも事業を考えていきたいと思っています。

川口議員：「瀬谷区食生活等改善推進員の養成・支援」の中で、レシピ集を作成とありますが、どういったもののでしょうか。地産地消というものの考えはありますか。

野田福祉保健課長：レシピ集については、現在、ヘルスメイトさんがメニューを考えていますので、地産地消という視点についても、しっかりと伝えていきたいと思っています。

川口議員：ウォーキングイベントの参加者から、歩いていて、「この場所
はいいね」というような話はでてきていますか。

野田福祉保健課長：瀬谷区は自然が多い区なので、楽しんで歩ける場所は
多いと感じています。冬の八福神巡りなども、瀬谷区の特徴のひとつと感じ
ています。

川口議員：一方、歩く際の課題はでてきていますか。

野田福祉保健課長：ウォーキングイベントをする際には、信号を一度に渡
り切れないとか、歩道が狭い等の課題があります。

川口議員：高齢者支援事業で作成する「見守りマグネット」とは、どうい
うものですか。

門脇高齢・障害支援課長：「見守りマグネット」というのは、例えば、通
院している医療機関や親族の連絡先等が記入してある見守りツールの置
き場所が、人によって違いますので、その置き場を示したマグネットとい
うものです。

川口議員：機会があれば、現物を見せてください。

川口議員：災害時のペット対策ですが、地域ごとの特色があれば教えてく
ださい。

亀井生活衛生課長：エリアということではないですが、住宅地域では受け
入れられても、ペット飼育禁止のマンション等がある地域では、関心が低
いように思われます。

川口議員：災害時のペットの受け入れは、どの地域でも温度差があると思
います。しかし、災害時のペットの受け入れは必要なものであり、今後の
課題でもあります。現段階で良いアイデアがあれば教えてください。

亀井生活衛生課長：これまで、災害時のペット対策の普及啓発単位を地域
防災拠点というくくりで行ってきましたが、ひとつの方法として、もう少
し小さい、自治会・町内会やマンションの管理組合を単位とすることに注
目し、実施していきたいと考えています。

川口議員：オープンガーデン事業は、とても良い取り組みだと思いますが、
その一方、防犯面での心配があると思っています。実際に協力していただ
いている方の反応を聞かせてください。

八子区政推進課長：オープンガーデン事業に協力していただいた方から
は、「見学に来てくれる方が沢山いることによって、今まで以上に頑張り
たい」というようなご意見をいただいています。防犯については、開催期

間中、協力者に家にいただき、見学者とコミュニケーションを図っていただいています。

川口議員：いまは、上手に循環できているようですが、もう少しのアイデアで、防犯や安全性が高まってくるように思います。協力者の皆様からクレームはありませんか。

八子区政推進課長：クレームはありませんが、協力者からアンケートをいただいていますので、分析をし、今後に繋げたいと思います。

川口議員：イルミネーション事業に関して、絵とか、具体的なアイデアがあれば教えてください。

八子区政推進課長：イルミネーション事業は、相鉄さんと一度お話をいたしました。具体的な取組みについては、他区の事例も参考にしながら、周囲の商店街等とも連携し、取り組んでいきたいと考えています。

川口議員：実施する場所は、決まっていますか。

八子区政推進課長：瀬谷駅北口の広場を想定しています。

川口議員：瀬谷駅北口の広場は、電気が通じてないと聞いていますが、大丈夫ですか。

八子区政推進課長：相鉄さんからは、電源の確保が難しいというお話はいただいています。LED等、省電力ということを視野に入れ、検討していきたいと考えています。

川口議員：引き続き、新たな情報があれば教えてください。

川口議員：読書との出会い応援事業の中に、「電子書籍の紹介」という文言が入ってきて、嬉しいと思っておりますが、区役所として、この電子書籍を取り上げる理由を教えてください。

大嶋読書活動推進担当課長：区役所としては、読書活動推進のツールになると考えています。そのため、10月実施予定の大人向けの読書フェスタの中で、電子書籍の利用促進を図るようなものを実施しようと考えています。

久保議員：瀬谷区の人口減少、また高齢者の増加について、考えを聞かせてください。

森区長：瀬谷区は、少子高齢化が進んでいる区です。それに伴い、様々な会合で後継者不足という話がでてきていますので、若い方にバトンタッチできるような環境づくりが大事だと思っています。それと、子供自体が減ってきていることを踏まえ、瀬谷の魅力をPRすることにより、若い方に

瀬谷区に住んでもらえるような、また活力を瀬谷区にもたらしたいけるような仕掛けを考えていきたいと思っています。

久保議員：瀬谷区内の人口増減等は、エリア的に分かるのでしょうか。

森区長：区内でいいますと、細谷戸団地では、他の地区と比べ高齢化が進んでいると聞いています。

久保議員：外国人の居住者が増えてくると、例えば、ごみ捨てのルール理解等、様々な面で行政の取り組みが必要なではありませんか。

森区長：現時点での外国人の方へのサポートは、かなりの面で地域の方に頼らざるを得ない状況にあります。そのような中で、今年度、18区の区長プロジェクトの課題として、外国人居住者に対し、何ができるのかを検討していきたいと思っています。

久保議員：前年と比べて、特殊詐欺の発生件数が増えているようですが、高齢者が被害にあわないよう、周知はしているのでしょうか。

岩上地域振興課長：特殊詐欺については、警察とも協力し、自治会・町内会を通じて、啓発物品等により各ご家庭に周知をしています。また、イベント開催時には、ブースを設け、来場者に周知をしています。

久保議員：福祉避難所機能強化事業とはどういう事業ですか。

門脇高齢・障害支援課長：災害時、要援護者の方は福祉避難所で生活することになると思いますが、その開設訓練の支援ですとか、備品を入れる倉庫の設置等をしていきます。

花上議員：旧上瀬谷通信施設の土地利用や国際園芸博覧会等で、横浜市が人員や予算を増やしていますが、こういった事業に区役所もきちっと意見を言えるような組織でなければいけないと思います。現在の局と区の連携はどのような状況ですか。

森区長：市政の中で、区を重視するという市長の方針は変わっておりませんし、各事業においても、区民の意見をしっかりと受け止めて、関係局の施策に反映させるため、言うべきことは、きちっと言っていくという姿勢も変わっておりません。また、瀬谷区の果たす役割も大きいと考えますので、しっかりと関係局と連携していきたいと思っています。

花上議員：人口減少と言いますが、横浜市の場合、北部方面は人口が増加し、南部方面は減少している。瀬谷区の人口も減少していると思うが、これからの瀬谷区のあり方について聞かせてください。

森区長：南部方面の人口減少は、東京との利便性の問題が大きいと思って

います。その点では、相鉄・JR、相鉄・東急の相互直通線が開業になれば、瀬谷区にとってメリットが出てくると思います。また、瀬谷区の魅力である、豊かな自然と、地域コミュニティのまとまりの良さが、きちっと伝われば、若い世代の方たちにも住んでもらえると思いますので、そのへんをしっかりとPRしていきたいと思います。

花上議員：旧上瀬谷通信施設の土地利用計画については、都市整備局から説明を聞くわけですが、その説明の中で、区民の意見として出てくるのが旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会の意見です。旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会は地権者組織ではありますが、区民全体の意見ではないと思っています。区の考えはいかがですか。

森区長：このエリアを、土地区画整理事業という手法で進めるためには、地権者の意向は非常に重要なものと思っています。しかし、それだけでいいとも思っていません。やはり、区民の意向を受け止めることも必要と思っています。その役割を担っているのが、12地区連合自治会長等による瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会と考えており、両者が連携しつつ、双方の意向を汲みながら事業を進めていくことが大切であり、そのことは都市整備局とも充分調整しております。

花上議員：瀬谷区の人口は何人ですか。

石原副区長：5月1日現在で、122,372人です。

花上議員：職員は何人ですか。

村上総務課長：再任用職員、嘱託員を含めて、約470人です。

花上議員：アルバイトは何人ですか。

村上総務課長：手元に資料がありませんので、後ほど。

花上議員：では、後で教えてください。

花上議員：区として、区民のために仕事をする上で、条例や規則を変更した方がいいのでは、と思うようなことはありますか。

八子区政推進課長：区民の方からのご意見、ご要望を広聴という形で対応していますが、条例や規則の中で、対応が難しいものについては、関係局にも上げていきたいと考えています。

花上議員：横浜市に住んでいる外国人の方が増えているということですが、瀬谷区の場合、国別に何人ぐらいの外国人の方が住んでいますか。

石原副区長：4月末現在ですが、総数で1,832人です。内訳として、中国人が516人、ベトナム人が382人、フィリピン人が232人、韓国人が185

人で、この4か国が瀬谷区内で多い国です。

花上議員：言葉が分からないため、外国人との意思の疎通ができず、地域の活動に影響が出ているというような意見は聞いてないですか。

森区長：外国人の子どもさんを保育園に通わせるときにも、言葉が分からないため、保育士の先生とコミュニケーションをとるのが難しいという話は聞いています。そのため同時通訳のできる機械の導入等、できることから対応していきたいと思っています。

花上議員：自治会・町内会から聞くのも、言葉が分からないためにコミュニケーションをとるのが難しいということです。例えば、区役所で通訳のできる職員を配置するというような必要はありませんか。

柴山こども家庭支援課長：子育てが必要なご家庭では、区役所で手続きを行うことが多いので、その際には、地域子育て支援拠点に、外国籍で日本語もある程度できる方をボランティアとして登録していただき、対応しています。

花上議員：後継者不足というものが、色んな分野で起こっていますが、状況が分かれば教えてください。

野田福祉保健課長：民生委員は12月1日に3年に1度の改選がありますが、定年退職の予定の方が多いため、地域の方に次の候補者探しに大変ご苦勞をおかけしています。

花上議員：自治会・町内会の会長さんも、なり手がいない、交代でなっても実態として活動していない、などの現実が多くあると聞いていますが、具体的な対応策は地元からでていますか。

岩上地域振興課長：地域では、会長や役員になるのが嫌で、自治会・町内会に入らないという方がいらっしゃるというのは事実だと思います。そんな中で、地域振興課で行うタウンカレッジという事業を通して、人材の発掘、育成等により地域と関わる機会を増やし、加入率を高めていきたいと思っています。

花上議員：瀬谷駅のイルミネーション事業は相鉄さんをお願いしないといけないものですか。

八子区政推進課長：相鉄さんにも具体的な他の方法を相談するとか、また、他区でのイルミネーション事業を参考にして、実施方法を検討していきたいと考えています

花上議員：50周年事業で予定している「出張なんでも鑑定団」の状況はど

うですか。

森区長：9月8日に公会堂で行う予定ですが、観覧希望者が1,000人を超えておりますので、観覧については抽選をさせていただきます。お宝の鑑定希望者は、連合自治会長さん等の協力も得て、現在73人の応募があります。

小川保険年金課長：50周年事業で「出張なんでも鑑定団」の担当をしておりますが、応募の品数としては、100品以上になっています。その中には非常に良いものも含まれていると思っております。

花上議員：50周年事業で、記念誌も作成するということですが、状況はどうですか。

八子区政推進課長：記念誌は、来年の初めに発行する予定です。

花上議員：商店街がますます寂しい状況になっているように思いますが、賑わいを作り出すような秘策はありませんか。

岩上地域振興課長：イベントを今年度もいくつかやらせていただいておりますが、なかなか結果に結びつかないのが現状です。経済局とも連携しながら、少しずつでも賑わいを作り出せるようなものを考えていきたいと思っております。また、商店街の会長さんたちのご意見を伺いながら、相談をし、行政としてできることを考えていきたいと思っております。

花上議員：公会堂で大きなイベントがあって、それが終わり、駐車場から一斉に出ようとする車が、出口の精算機のところで渋滞してしまっているので、精算機をもう一台増やせませんか。そういう苦情はありませんか。

村上総務課長：渋滞の際の対応としては、渋滞による追加料金をいただくようなことが無いように気を付けています。また、精算機を増やしてほしいという苦情も、いまのところはでていません。

久保議員：最近、子どもを巻き込んだ車の事故が多く発生していますが、通学路の安全対策という面で、意見を聞かせてください。

井深土木事務所副所長：大津市で発生した、交差点での事故から保育園児の列に車が突っ込んだ事故を受け、道路局が中心となり、すべての交差点の点検をこれから行います。また、各学校で開催されるスクールゾーン協議会での意見を集約し、対応できることからしていきたいと考えています。

久保議員：災害時のまっこトイレは、どのぐらい整備されているのでしょうか。

	<p>村上総務課長：現在、5か所に整備されています。今年新たに2か所増設する予定です。</p>
備 考	